尾上伊太八
お初徳兵衛
京山作
豊國画

13
2378
36

2378
36

女子教訓 東海道

山東京山作

歌川豊國画

第壹

大隅ハ市ヶ隅ヶ地名の隅屋ちゃん髪ハそれふ引
て車馬塵埃の其中ハ文人ハ痩浪人破書生ハ
博徒 我作ハ庶子ゑよ瀧城嘲むしくと芸ごとに
ゑ成おこるまで草稿ものぶり計かき餘ゑ出者ゑ新
色めるさむせうふ書ゑる文章ハ物のちゑゆハ本屋ゑ
虛言ゑ作ゑまゑてさゑ作成やめんとおもひ
ゑるハ一里半息我きろくゑ隅者ハ
ゑりゑ作ハ風雅でゑ西洋ゑ山東作の
身の朝遊閑儀ゑまの鏡山又記ゑ
雅とゑりて下女のおゑろふ徳ゑ
の業序十月十五日我おこて
文政五年壬午之良夜

涼仙書屋ゑ於て 山東庵京山

○今出川家の中臈
尾上

○今出川家の
若殿 千草之助

○今出川家の
岩藤

つゆくさとくやの
時代
徳兵衛
○ふくさくさ扇が谷ふくさくさや万右ヱ門女房
おせん
腰元お蝶

吹き捨て
ちりぬ身の
鏡山
尾上なる
きり雁の声
涼仙
○今出川家
の侍
岩藤の弟
鶴賀伊大八
○隅田左ヱ門
春時の忠臣
石濱円下
娘
あイ門
のちに
ふくさくや
万右ヱ門
こてしをとる

酒さかいろく
でんぐくたんご

けんぎやうのおくさまとのりちゝとん

第貳

歌川豊國画　山東京山作

岩
仲太

上方

万
せん

初

五乃まき

尾上
石川

初

大尾のまね

作

初
侍

豊國一画　京山作

京山著　近刻

備書　晋米齋